



過るや

して言  
 結氷中  
 不景氣  
 産多の波  
 共れが爲  
 部落は  
 安し雜貨  
 以上は  
 なり而し

上夫等に  
各々そ兼  
人も夫れ  
り且つ兼  
恋し回漕  
には新た  
るものな  
らん殊更  
即ち給料

京氣に悶  
 利益なき  
 らず、城南  
 は例年の  
 に達す商  
 先を要す  
 に猛省せ

-202-

て不可也  
の經濟膨  
迂迴過  
に於て積  
手腕を揮  
は金の問  
を策せよ  
官吏に不  
國の基と

手頻く驅  
上らぬこ  
等は斯く  
す不可度  
る自然の  
も及ばず  
漢城の紳  
天下太平  
せらるや

本婆妙也  
 敷事也近  
 談語法無乎  
 のの進むと  
 妙と一般乎  
 主義發達す  
 總て輝煌也  
 捕はる其猛  
 効勿也と

と余り人間なんじんの謎示乎めいじこ

1





